



どの党を選べば? 政党の値打ちをはかる 試金石

事実で見きわめて下さい

①消費税に頼らない党か

日本共産党 社会保障の財源は、消費税に頼らなくても軍事費などのムダにメスを入れ、大企業と大金持ちに相応の負担を求めれば確保できる。

自民・公明、民主 自公政権は「消費税を避けて通るといのは、財源を避けて通ること」(麻生首相)と消費税増税しか念頭にない。

民主は「徹底してムダ遣いをなくするところから始めたい」(鳩山代表)というが、大企業・大金持ち減税は見直そうとしないばかりか推進。

消費税増税 自民・民主 違いは“3年後か4年後か”

自公 麻生首相「3年後、消費税を含めて税の『抜本改正』をやらせていただく」

民主 鳩山代表「4年の間、われわれが政権をとっても消費税は増税しない」が、政調会長「いずれ、消費税を上げるお願いをしないとイケない」

自民・公明も民主も5兆円規模にふくれあがった軍事費と、ゆきすぎた大企業・大金持ち減税にはメスを入れようとしな。

②財界にモノをいえる党か

日本共産党 日本経団連やトヨタ、キヤノンと直接会談し、「非正規切りやめよ」とはっきりモノをいってきました。

「ユニクロ」で知られるファーストリテイリング・柳井正会長「私が一番残念だったのは、大企業に共産党の人々ばかりが訪ねて、『雇用を維持して下さい』と頼んだことです。首相や自民党の人が行くべきだったと思います」(韓国紙「ハンギョレ」5月15日付)

共産党を

伸ばせば政治は変わる

主張と行動で政治動かす 日本共産党

雇用

08.2.8 志位氏が衆院予算委で「日雇い派遣」を告発。労働者派遣法の抜本改正を迫る→福田首相「日雇い派遣は好ましくない」と答弁。派遣法改正の機運が広がる

12.18 志位氏が日本経団連と会談。“非正規切り”の中止・撤回を求める

12.24 志位氏がトヨタと会談。大企業として雇用責任を果たすよう求める



日本経団連に申し入れる志位氏、こくた恵一(吉井英勝)両衆院議員

核廃絶

「核のない世界を」オバマ米大統領が演説

オバマ米大統領は4月5日、プラハで「米国は核兵器のない、平和で安全な世界を追求していくことを明確に宣言する」と演説しました。

国際交渉の開始へ
志位氏が歓迎の手紙

志位和夫委員長はこの演説を歓迎し、大統領あての手紙をアメリカ大使に手渡しました。手紙は核廃絶の国際条約を結ぶために、積極的なイニシアチブ発揮を求めています。

「核廃絶の情熱うれしい」米政府から返書

志位氏の手紙にたいし、米国政府から「この問題にたいするあなたの情熱をうれしく思う」という返書が寄せられました。

③企業献金を拒否する党か

日本共産党 企業・団体献金も政党助成金もいっさい受け取っていません。だから、だれにも遠慮することなく、国民の立場がつかぬけます。

自民、民主 財界は政策にその意向が反映されているので、自民、民主に「通信簿」をつけています。財界寄りほど献金額が増える仕組み。企業献金をもらい、財界からモノをいわれる党に国民の願いは実現できません。

麻生首相 「企業献金は悪ではない」
民主・政調会長 「3年間は(企業献金の)支援をお願いしたい」

④「二大政党」の悪政競い合いに 立ちはだかる党か

自民党、民主党は基本路線に違いがありません。それだけでなく消費税増税、憲法改悪、衆院比例定数削減など両党の共通部分で悪政を競い合っています。「二大政党」による独裁政治の危険にたいし正面から立ちはだかることができるのは、共産党をおいてありません。